

一般質問通告書

受領日時 令和5年2月27日 午前11時00分

1番 氏名 工藤 政彦

質問項目	質問の要旨
1 学校給食の「黙食」 対応について	(1) 政府は昨年11月に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を変更。「飲食はなるべく少人数で黙食を基本とする」といった文言を削除した。これを受けて文科省は、学校給食の際に適切な対策を取れば、「会話は可能」とする通知を都道府県教育委員会などに出した。これに対し、県教委は、文科省の通知を市町村教委や県立学校へ送付し、具体的な対応はそれぞれの判断に委ねるとしたようだが、本町小中学校の対応は。
2 卒業式でのマスク着 用の緩和について	(1) 政府は、新型コロナウイルス対策としてのマスクの着用を大幅に緩和するとし、3月13日からは屋内外とも個人の判断に委ねる内容に改めるとした。学校では、4月の新学期以降、マスク着用を求めない。それ以前の卒業式でもマスクを着けないことを基本とし、文科省が都道府県教育委員会などに通知をした。本町小中学校においては卒業式でのマスク着用について、どの様な対策と対応をするのか。
3 五城目高校に介護福 祉学科の増設を	(1) このほど、2023年度の志願倍率が公表され、五城目高校の倍率は0.35倍と全県合計志願倍率0.88倍と比較しても大分厳しい数値となっている。県教委では、「第7次高等学校総合整備計画」(後期計画)令和3年度から7年度を策定している。その中で、『五城目高校については、地元や秋田市からの入学者数が今後も一定数見込めるとともに、全県的に見た学校の配置状況等から特別な事情があることを考慮し、今後もキャリア教育をベースにした指導や地域と連携した教育活動の充実を図る。』とはあるものの予断は許されないと感じている。 そこで志願者を募る意味から、中央地区の魁として『介護福祉学科』の増設はできないか。そして、以前一般質問で提言した、資格取得のために頑張る本町若者(高校生)に対し、介護職員初任者研修の受講料などの助成金を交付する方向に繋げてはどうか。(かつて五城目高校には林業科・家政科があった。県南には、六郷高校福祉科、湯沢翔北高校専攻科介護福祉科がある。)

<p>4 町道、県道の道路舗装改修工事について</p>	<p>(1) 雪解けとともに町道や県道の舗装の破損が目立つ。凍上災の適用になる路線数は。</p> <p>(2) 以前にお願いしている県道4号主要地方道能代五城目線の道路整備についてだが、指摘した舗装の破損箇所の傷みが進み危険な状態となっている。昨年2月に再開した「湯の越温泉」に来られる人もかなり多くなり、道路走行車両の増数も破損の要因となっている。早急の舗装整備を望む。</p>
---------------------------------	--